

西岡見聞録

12月の西岡公園見どころは!?

12月は気温が氷点下になることもあり、いよいよ冬本番を迎えます。毎年11月下旬から12月上旬に水源池が結氷し、氷が張ると水鳥の姿は春まで見られなくなります。根雪になるまでは雪が積もっては解け、積もっては解けを繰り返すため、足元がぬかるんだ状態となります。ご来園の際には滑りにくい長靴や、スノーブーツなどの靴がお勧めです。そして便利な木道や園路を利用しているのは人間だけではないようです。薄っすらと積もった雪の上には、動物たちの足跡がくっきり残っていることもあります。動物たちの痕跡を探すのも冬ならではの楽しみ方ではないでしょうか。散策の後は管理事務所の図鑑や書籍でどんな動物の痕跡か調べることも出来ますよ!

【西岡公園で12月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2018.12.2 札幌支部 HP より)

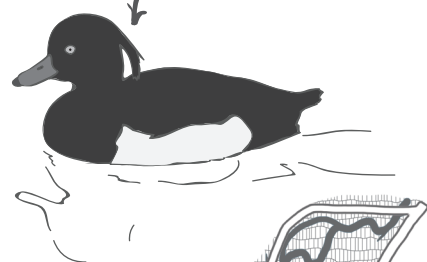
- | | | |
|---------|----------|---------|
| ・マガモ | ・ハシストガラス | ・ヒヨドリ |
| ・トビ | ・キクイタダキ | ・エナガ |
| ・ハイタカ | ・ハシストガラ | ・ゴジュウカラ |
| ・コゲラ | ・ヤマガラ | ・ツグミ |
| ・オオアカゲラ | ・ヒガラ | ・スズメ |
| ・クマゲラ | ・シジュウカラ | |

【キンクロハジロ】

カモの仲間で
水源池が結氷するまで、
マガモやカイツブリに
混ざって見られます。

金色の目、黒い体、白い翼帯
その見た目が和名の由来。

ボサボサの寝ぐせのように
後ろに伸びた
黒い羽根が特徴的



イタヤカエデの種は
羽の付け根が
平べったいのが特徴。



【イタヤカエデ】

秋に黄色く色づいた葉っぱは
手裏剣のような特徴的な形で、
スロベラ状の羽の付いた種を飛ばします。

冬芽は犬の足跡のよう
に見えます。

【イタヤカエデの冬芽】

「お手」と言ったら
差し出されそうな
犬の足に似た
形です。



自由広場

見晴台

水源池

取水塔

展望テラス

パーゴラ
広場

花木
広場

管理
事務所

P

駐車場から管理事務所にかけて
クリの木があります。

【水源池結氷】

水源池が全面結氷する日

昨年は12月8日
一昨年は11月20日
でした。
今年はどうでしょうか?

朝晩の木道は、表面に薄っすらと
氷を張ることがあり、木道が
滑りやすくなります。ご注意ください。

【クリの冬芽】

エノリスが夢中でクリを
食べているのを
今年は何度も目撃しましたが、
クリの冬芽はご存じですか?

やや扁平で、まるでクリのような
丸みのある三角形をしています。

